

内断熱と外内両断熱の違い

省エネ性

従来の内断熱建物に比べて約 1 / 2 のエネルギーで全館連続空調が可能。夏期、内断熱された建物の躯体に日射を受ける面は外気の温度よりずっと高温になり、外気温度が下がっても室内に負荷を与え続けます。

環境保全性

空調に伴うライフサイクルエネルギーの使用量が少なく、地球環境保全に役立つ。

健康性

室内に高湿部分がなくカビやダニが発生しない、壁の内部や外壁と床の取り合い部分に結露が発生しなく、カビやダニによる健康被害の心配もない。室内温度変動が小さくほぼ一定でヒートショックの心配がない。

高耐久性

コンクリートの劣化が少なく、熱橋はエネルギー消費を増やすだけでなく、建物に温度応力を発生させ躯体の劣化原因になることもないです。

シミュレーションによる比較

